ふくしま
電友会だより

電友会
NTTグループOB・OGの会
福島地区電友会事務局
TeL・Fax 024-531-7421

第53号
令和3年1月1日

謹賀新年

年頭にあたって

福島地区電友会
会長　斉藤　政夫

新しい年を迎え、会員の皆様のご多幸を心よりお祈り申し上げます。

振り返りまして、昨年は、新型コロナウイルス感染と云う、未曽有の危機に振り回されて、日常の安全、安心な生活が脅かされた一年間でありましたが、一昨年の１２月に、中国の武漢市で発生したと云われている、新型コロナウイルスの感染者数は、今や全世界で８千万人を超え、死者数も１７０万人を超えており、日本国内に於いても、感染者数は、既に２０万人を超えると共に、福島県内の感染者数も、大変残念ではありますが、８００人を超えてしまい、感染拡大の勢いは、未だに衰えておりません。

この様な状況下にあって、東北管内における電友会の会員が、感染したとの情報は、入ってきておりませんので、大変喜ばしい事であると共に、日常の生活において、会員の皆様一人ひとりが感染防止策を徹底して、励行されている証であろうと思っております。

この様な事から、私達の電友会活動でありますが、昨年の１月２３日に開催した、新年会を最後に、以降に開催予定の総会、全体役員会、及びＯＢ・ＯＧ交流会等、いわゆる「３密」となる集会等は、全て中止にせざるを得ませんでした。また、当初は休会しておりました、各サークルの活動状況でありますが、昨年の第二四半期当たりから、主に屋外で行うサークルは感染防止策を徹底して、随時活動をスタートしておりましたが、主に屋内で行うサークルについても、マスク、手洗い等の徹底及び、「３密」を遵守しながら、徐々に活動をスタートしつつある所であります。

この様な中にあって、昨年の１１月１２日に、感染予防策を遵守しつつ、花園ビルで全体役員会を開催して、意識合わせを行いました。

会議の主な内容でありますが、令和２年度上期の活動・予算の執行状況の共有化及び下期に向けての、会員拡大等、重点施策の具体的取り組み方法について、議論を行いました。

また、役員会の総意として、今年1月に開催予定の、新年会は、大変残念ではありますが、コロナ感染拡大の現状から、中止にせざるを得ないとの結論に至りました。

今年も、まだまだ何かと不安な日常生活が続くと思いますが、感染防止の特効薬になると思われる新型ワクチンの早期開発を期待しつつも、最終的には、自分の身体は自分で守るを「モットー」として、安全、安心な日常生活を創造出来るのは、自分自身である事を心がけて、日々コロナと闘いつつ、一日でも早い平穏な日常生活の到来を待ちましょう。

最後になりますが、皆様の益々のご健勝を祈念いたしまして、新年のご挨拶とします。

「年頭のご挨拶」

ＮＴＴ東日本　　理事
福島支店長　山貫　昭子

新年あけましておめでとうございます。

福島地区電友会の皆さまには、日頃からNTT福島グループの事業運営に格別のご理解とご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

昨年は新型コロナウイルスが猛威を振るった一年でした。福島県においても３月に県内初めてとなる感染者が確認されて以降、第二波・三波と感染拡大の波が押し寄せ、終息にはまだ時間を要しそうです。

そのような中、NTT東日本グループでは、２月に新型コロナウイルス対策本部を設置し、自らの感染防止策を徹底しながら、情報通信事業者としての「つなぐ使命」を遂行し、地域に寄り添った活動を行ってきました。福島グループでも、まず社内において在宅勤務やテレワークの推進、社内外の会議・研修のオンライン化、記者会見や各種発表会のリモート開催など、「リモート」を中心とした新しい働き方を実践してきました。試行錯誤や課題もありつつも、移動時間削減による効率化や利便性、距離に影響されない交流促進などリモートならではの価値を実感し、その経験をもちながらコロナ影響下のお客さまの課題解決にあたりました。自治体や企業のテレワーク、リモート営業、学校や塾のリモート授業、イベントのリモート開催や、患者急増に対応する保健所・病院のICT環境など、お客さまの様々な営みを数多く支援してきました。

今年は東日本大震災と原発事故から丸１０年となります。社会の「リモート化」「デジタル化」はコロナ対応のためだけではなく、人出不足を補い、距離の壁をなくし、これからの東北・福島にとって大きな力となりチャンスともなります。ＮＴＴ福島グループは、コロナ禍で再認識された「直接対面」の貴重性・価値も大切にしつつ、ＩＣＴとグループの総合力で地域を支え、福島の一層の復興、創生、持続的成長に貢献して参ります。皆さまのご支援をよろしくお願い申し上げます。

また、昨年はNHK朝の連続テレビ小説「エール」の放送に福島が沸いた年でもありました。ドラマの主人公のモデル古関裕而氏にまつわるイベント等が各所で行われるなか、NTT大町ビルにおいて商工会議所等と連携した展示施設「古関裕而まちなか青春館」を約半年にわたって開館し、全国から２万人以上のお客さまにご来訪いただきました。青春館とあわせ街を散策される方も多く、街の賑わいにも貢献できたのは嬉しいことでした。

前回の東京オリンピックと関わりの深い古関氏にちなみ、「青春館」の一角でNTTグループの東京2020オリンピック・パラリンピックに向けた取り組みも紹介させていただきました。延期となった聖火リレー、オリンピック・パラリンピックが今年は無事開催され、地域の皆さまとともに楽しめることを願っています。

結びに、福島地区電友会の益々のご発展、会員の皆さまのご健康・ご多幸を心より祈念申し上げ、年頭のご挨拶とさせていただきます。

※NTT東日本福島支店は昨年１０月「facebook」に公式ページを開設しました。支店の活動紹介や地域情報の発信を通じて、地域の皆さまとのリレーション深化、ビジネス拡大、地域活性化につなげてまいります。是非ご覧ください。

福島支店「facebook」開設

NTT東日本　福島支店
https://www.facebook.com/fukushima.ntt.east/

各　種　会　議　模　様

■第２回役員会模様

第１回役員会及び地域担当幹事会議は新型コロナウィルスの影響で中止となりましたが、第２回役員会は１１月１２日（木）１４時より花園ビル２階会議室で役員１５名が参加し実施されました。

新型コロナウィルス対策としてビル玄関での検温、全員マスク着用、入室前の手指消毒、会議室ドアを開け放し換気を行いながらの会議開催となりました。

斉藤会長より、新型コロナ禍で厳しい電友会活動を強いられている中での取り組みについて会員の皆様の努力への感謝の言葉と上期の総括、下期に向けての事業の進め方等有意義な会議のための活発な議論をお願いしたいとの挨拶の後、議事に入りました。

議事では「令和２年度事業計画の進捗状況と今後の進め方」を中心に活発な議論を行い、①新型コロナ禍のため「会員近況調査」を次年度へ繰り延べ、②「新規入会勧奨」強化として役員による勧奨の実施、③「不良設備情報の提供」強化策としての役員１件提供運動の実施、④「顔写真」と「私の足跡」未提出者に対して提出依頼を文書で行う事が決定されました。

また、今後の行事予定として、「令和３年新年会」が新型コロナ禍のため中止せざる得ない状況であること、３月の役員会については新型コロナ対策を十分に行なった上で開催を目指すことを確認し終了しました。

丑年生まれの方々の抱負

（掲載順不同）

■上遠野　寛さん（１９４９年生れ）

新年あけましておめでとうございます。６回目の年男を無事迎える事が出来ました。今まで大病にもかからずにすんだ健康な身体を両親に感謝する今日このごろです。現役時代には無かった病院通いもデビューしました。毎日の晩酌を楽しみ、日中は退職後に再開した、帆船模型を作っています、年１隻程度を作り５隻が完成し６隻目を作成中で完成するまであと半年はかかる予定ですので健康に気をつけて頑張っていきたいと思います。
今後ともよろしくお願いします。

■菅野　利光さん（１９４９年生れ）

６回目の年男となりますが、年男として何かあるわけでもなく、特に意識した事もなく、今年はコロナ禍の中でもあり、良いイメージが湧きません。しかし今年は、コロナ禍で一年延期となった東京五輪が開催される予定です。前回の東京五輪は今から５７年前で昭和３９年の秋でした。私が中学３年の時で、毎日白黒テレビで応援していました。また、学校では一授業として観音扉のテレビで見た思い出があります。マラソン（男子のみ）：円谷選手が競技場に入ってから英国の選手に抜かれ銅メダル。柔道（男子のみ）：神永選手がオランダのアントンヘーシンクに敗れ銀メダル。女子バレー：ソ連との大接戦の末金メダルを獲得。当時はサーブ権がないと得点にならず長時間の試合となった。（回転レシーブ、東洋の魔女、大松監督、日紡貝塚）。男子体操：個人総合優勝の遠藤幸雄選手のあん馬競技での落下事件（点数の判定で揉める）等々（ウルトラＣ難度）。
コロナウィルスに感染せず、沈静化を祈り２回目の東京五輪を楽しみたいと思います。

■菊地　一夫さん（１９４９年生れ）

新年明けましておめでとうございます。今年で６回目の丑年を迎えても別に何の思いも無く、近況としては今後、健康で残り人生をつつがなく過ごせるためにとジム通いを行い、筋トレに励んでおります。又、趣味として陶芸教室に通って下手なりに作品を作成し、悦に入っております。最後になりましたが、皆々様のご多幸とご健勝をお祈り申し上げます。

■鈴木　正廣さん（１９４９年生れ）

終活：リタイヤして１０年、現役時代にできなかった畑・庭仕事、木工、山登り、山仕事（宮城県 森林インストラクタ）と薪造り。疲労と工具、装備類の数々、間口を広げ過ぎたと反省、歳・体力相応に狭め、手を抜き、一喜一憂せずに過ごしたい。

自重：晩秋、娘に子供ができ孫が４人になった、人口減歯止めの国策の中で最低限の役割を果たし自己満足。ジジィは“臭い、汚い、口うるさい”陰で成長を見守っていきたい。

■竹田　正志さん（１９４９年生れ）

働いていた時は、年齢を意識せずにいましたが、改めて年男の抱負を書くに当り、何回目の年男なんだろうと数えてみました。
今年は、第６回目の年男だそうですが、自分ではまだまだ若いつもりでいます。
退職して思うことは、今までは一人で生きてきたんだと思っていましたが、周りの人に支えられながら生きて来たことを実感しました。ボランティア活動をしていると特に感じます。時間に縛られる事なく、自分の時間はたっぷりあると思っている人は、少しだけでも社会に恩返しをしてみたらどうでしょうか。皆様、良いお年をお迎えください。

丑年生まれの方々の抱負

（掲載順不同）

■斎藤　信一郎さん（１９４９年生れ）

新年おめでとうございます。早いもので退職から九年、現在は家事と趣味の合唱活動更に、ここ二年は孫の保育所への送迎も加わり痛む両膝をケアしながら日々過ごしております。　今年の抱負は副代表を務める、福島の合唱団「うた工房・第五回定演」と「第三回伊達声楽協会演奏会」の開催とその成功です。近々のコロナ感染拡大状況から開催は　難しい状況ですが頑張る所存です。皆々様のご多幸、ご健康を心よりお祈り致します。

■斎藤　博則さん（１９４９年生れ）

明けましておめでとうございます。仕事を離れてから７年が経過しましたが、これと言った特別な事は何もせず、近年は、猫の額程の菜園で野菜を栽培し、その出来具合に一喜一憂したり、たまに海釣りに行って、釣ってきた魚を自慢したり、たまに飲みに出かけたり、などなど、自分ファーストの生活を送っております。６回目の丑年を迎えた今年、抱負と言えるものではありませんが、安全安心な世の中となり、皆様との交流が普通に出来る事を願っておりますので、これまでのご厚情に感謝しつつ、これからも、ご交誼の程宜しくお願い致します。最後に会員皆様の益々の健康人生を祈念いたします。

■佐野　敬時さん（１９４９年生れ）

７２才という現実に素直に向き合い、過去を反省し、少しでも人生を長く歩けるように健康を最優先で生活していきたいと思っています。

皆様、いつまでもご健勝でお過ごし下さい。

■村上　光男さん（１９４９年生れ）

明けましておめでとうございます。今年は六回目の年男で改めて自分の年令を感じます。

退職後は町内会や各団体の役員など雑務に忙殺されつつも田畑を耕作して汗を流していました。我が家のまわりでも休耕地が多くなり、荒地が多くなる事に心が痛みますが、どうする事も出来ず見守っているだけです。これからも健康に留意し元気に過ごしていきたいと思っております。

最後に皆様の御多幸と御健康を御祈りし今後ともよろしくお願い申し上げます。

■山口　喜久雄さん（１９４９年生れ）

あけましておめでとうございます。もう六回目の年男、退職して十九年になりますが、その間、テレビの地デジ移行に伴うお手伝い、遊びの旅行、体調面では、一時体調を崩し健康の大切さを痛感。現在は、二本のポールを使って歩くノルディックウォーキング、町主催の運動教室、行事に参加しています。

元気に過ごしていきたいと思います。

■渡辺　正春さん（１９４９年生れ）

喜びも悲しみも幾年月。終戦後の困難な時代を貧しいながらも汗水を流しながら　懸命に働く父母の姿を見ながら育った我等。　金の卵ともてはやされ、高度経済成長の象徴として、そして団塊世代として競争の真っ只中にほうりこまれ、もみくちゃにされながらも、あの時代、この時代を行きつ戻りつ生きてきた。楽しいことも、悔しいこともいっぱい味わってきた。

世の中の不合理も見てきた。そして今、７２歳になるまで病気もせず健康でいられることにうれしく思っています。

今後も社会に地域に恩返しするため力強く生きていきます。

丑年生まれの方々の抱負

（掲載順不同）

■古川　純三さん（１９４９年生れ）

新年明けましておめでとうございます。元気に六度目の年男を迎えることが出来ました。これまで私を支えてくださった皆さんに感謝です。

新型コロナの早い終息を願いつつ、感染に留意し、旅行・カラオケ・ボウリングと趣味を楽しみ、健康に気を付け、孫の成長を見守りながら、ゆっくり歩んで行きたいと思っています。

■廣瀬　典夫さん（１９４９年生れ）

新年明けましておめでとうございます。原稿の依頼があって初めて年男７２歳かと。早いもので退職してもう７年になります。喫煙５０年何ともなく過ごしておりましたら突然４年前肺ガンが見つかり、右下葉一部撤去手術、後は大丈夫かなと思ったら、次の年右下葉全体にガンが広がり、下葉全撤去再手術。これでよいのかと思ったらリンパ転移が見つかり、昨年放射線治療。効果あって転移はほぼ消滅。やれやれと思いきや、去年の５月に狭心症、下肢動脈硬化症が見つかり緊急手術、手術は無事終わり、何とか復活。

去年は何かと病気だらけの一年でしたが、早期治療のお陰なのか復活です。孫とボール遊び、庭木の伐採などしながら過ごしています。皆様も早期発見、早期治療を心掛け、良き年をお迎えください。

《その他の年男の皆さん》

［1925年生］　木村　秀雄さん

［1937年生］　伊藤　守さん　　菊池　規十さん

［1949年生］　板垣　文雄さん　佐藤　政美さん
二階堂　和博さん

［1961年生］　佐々木　充さん

新 入 会 員 紹 介

「3名の方が入会されました」

■尾形　洋さん（令和2年6月入会）

この度入会させていただきました、尾形洋です。よろしくお願い致します。

昭和４８年４月に、登戸電報電話局（神奈川県川崎市）に採用されました。その後、いわき、白河、仙台、石巻そして出身地である福島に勤務となりました。

そして、令和２年３月をもってＮＴＴ東日本－東北　福島支店契約社員を退職となりました。各勤務地では、たくさんの先輩方に大変お世話になりました。この場をお借りし御礼を申し上げます。ありがとうございました

現在は季節の花の写真を撮るなど、趣味を楽しんでいます。ただ、新型コロナウィルスのため、外出を控える等我慢も強いられているのが残念です。今後ともどうかよろしくお願いいたします。

■梅宮　博之さん（令和2年6月入会　準会員）

５年間の契約社員を終え、現在、福島支店ＢＩ部にアソシエイトⅡ社員として在籍しております梅宮博之と申します。この度は、電友会に入会させて頂きありがとうございます。ご迷惑等おかけするかもしれませんが、よろしくお願い致します。

ＢＩ部というとわかりづらいですが、内容は営業です。売上はともかく、年齢と営業年数だけはトップになりました（笑）。私生活では、２０年前からトライアスロンをやっています。

現在は、所属クラブ「福島ＣＴＣ」の会長もさせていただいており、３種目の練習、クラブ主催の大会の開催準備等、年間のスケジュールも多く、家族サービス等がおろそかになっているのが気がかりです。

新 入 会 員 紹 介

■齋藤　孝弘さん（令和1年11月入会　（準会員）

この度、入会させて頂きました斉藤孝弘と申します。

現在は福島支店人事労働担当で契約社員として勤務しています。採用は昭和５２年４月、電々東北野球部として採用になりました。１２年間お世話になり現役を退いてからはNW支店（経理）、福島支店（経理）、原町支店（総人労）、福島支店（総務・労務）と職種は点々し現在は安全業務で頑張っております。趣味はゴルフ等ですが先日、初めて十割そばにチャレンジしそれなりに成功したので本格的に打ち込んでみたいと思っております。先輩方々には色々な趣味のスペシャリストがいると聞いておりますので、後２年４か月後には完全退職となります。その時は宜しくお願い致します。今はコロナでいろんな活動に規制が係りストレスが溜まり易くなってますので、上手に発散し健康に留意して行きましょう。

今後とも先輩方宜しくお願いいたします。

趣 味 の コ ー ナ ー

二科会写真部東北公募展
最高賞

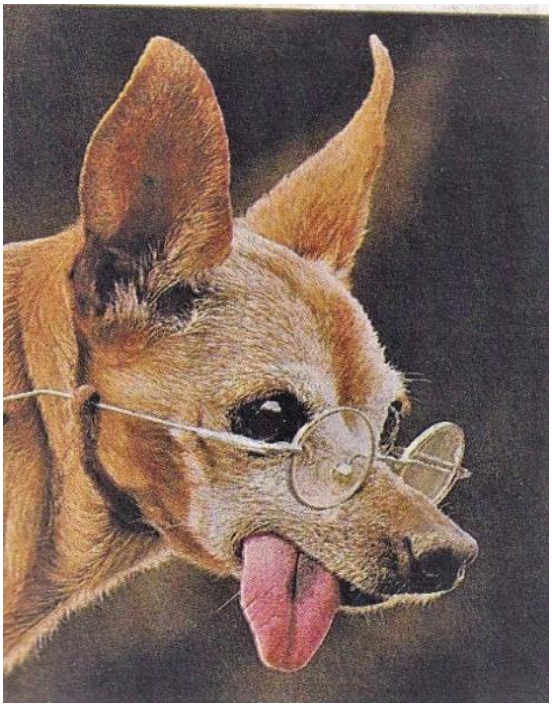
「最高賞　老犬」

佐山　潔さん

第四十四回二科会写真部東北地区公募展において、最高賞の東北二科賞に佐山潔さんの「老犬」が輝きました。

佐山さんの作品は昨年春に宮城県白石市を訪れた際、住民の男性が連れていた眼鏡を掛けた犬を撮影した。

「いい瞬間に出会えた。最高賞に驚いている」と喜びを語った。公募展には東北６県の各支部から千六百四十六点の応募があり、県内からは三百六十八点が寄せられた。公募展は十二月四日から八日まで仙台市のメディアテークで開かれました。



趣味のコーナー

【カラオケ】

山本　豊彦さん

「私の趣味・カラオケ」

　私はカラオケが趣味です。カラオケの醍醐味は歌うことが楽しいことに加えて、歌詞を暗記することで頭の体操にもなる外、大きな声を出すことでストレス解消にもなります。
　所詮素人であり、上手には歌いませんが私の唯一の趣味です。
　昨今はコロナ禍のためカラオケボックスに行けず、また電友会のカラオケ仲間とも歌を楽しむことが出来ない状況ですが、今後も健康維持を兼ねて歌を愛し、残された人生を過ごしたいと思っております。

【ワカサギ釣り】

赤井　善男さん

「私の趣味・ワカサギ釣り」

　今年も１１月から、ワカサギ釣りが解禁になります。福島の檜原湖で思う存分釣りができると思うとワクワクしています。
　私が本格的にワカサギ釣りを始めたのは、会社を退職してからです。
　毎年釣具をアップグレイドして、釣果を上げるために揃えてきました。
　今年も穂先を新調し、釣果を上げるために準備しています。昨年は氷が張らず氷上釣りができませんでした。今年は、氷上釣りができることを楽しみにしています。

「サークル代表者　新年挨拶」

■ＩＴサークル悠々クラブ

明けましておめでとうございます。

サークル活動は、①ＰＣ教室、②ふくしま視覚情報サポートセンターにじのデージー図書作成、③同センターのwalking活動サポートを中心の柱にして積極的に実施しています。

①PC教室

月2回の活動で、今、困っていること、今、実現したいことを持ち寄り、その日に解決するよう心掛け、大変好評です。

受講生は、部外者が多く、電友会のメンバーが少ないのが悩みです。

②デージー図書作成

月1冊以上のデージー図書作成を目標に、テレワーク活動で毎日、地道に活動しています。協力者を募集しています。

③Walkingのサポート

年に2回開催するwalkingに視覚障碍者の目となり、話し相手になって活動しています。また、にじの会で実施しているPC教室にも支援しています。

④５Gの話題、DXの話題、テレワーク等学びたいこと、知りたいことがたくさんあります。今後も、アンテナを高くし、好奇心を持って、知識、技術を習得し、少しでも多くの人がデジタル化の恩恵が受けられるよう、楽しみながら活動していきたいと考えています。

■囲碁クラブ

新年あけましておめでとうございます。

当囲碁クラブにおきましては、長期に渡り新規会員の加入がなく、活動の中心的役割を担ってきた古参の囲碁愛好会員の高齢化が進み、大会等への参加者の激減が予想される現況などから、当クラブを運営することは非常に難しいと判断致しました。

昭和６２年３月から続く伝統ある囲碁クラブをここで解散することは誠に忍びないのですが、令和２年９月末をもって解散致しました。今までの皆様のご支援に心から感謝いたします。ありがとうございました。

■しのぶゴルフ倶楽部

電友会員の皆様、おめでとうございます。

昨年の活動は年９回の予定でしたが、新型コロナ感染症の影響で６回のゴルフ実施となりました。今年も３月から月１回の活動を予定しています。イベントは南３県交流コンペが７月に有ります。ゴルフの技術向上・健康増進・親睦を一緒に図りませんか？　お試し体験は毎月のゴルフ日に参加できます。又、福島地区以外の電友会会員様のゴルフ参加や新規入会申し込みも待っています。趣味で有るゴルフを通した楽しいサークルです！

■麻雀サークル

新年あけましておめでとうございます。

私たちの麻雀サークルは会員数が１６名で、例会は年４回です。今まで親睦とボケ防止を兼ねて楽しんでおりましたが、残念ながらコロナの影響で現在は休眠中です。

早くコロナが終息し、以前のように開催できるようにと願っております。

■電友会福島カラオケクラブ

明けましておめでとうございます。

昨年は新型コロナのため、２月１７日以降休会としてきました。

１０月１９日に、幹事４名で打ち合わせを行い、新型コロナが沈静化するまで休会とすることとし、会員１５名に周知しました。

今年は、新型コロナが早く終息し、皆でカラオケを楽しむことができるようになればと思っています。

「サークル代表者　新年挨拶」

■そばを楽しむ会

そばの会は、月に一回会員が集まって美味しい蕎麦を賞味して、産地、製粉歩合、新旧そば粉等の感想を述べあったり、ついでにお互いの近況を話し合ったりして親睦を深めることが活動のメインとなっています。

コロナ用ワクチンが完成して、コロナ感染が下火になり従来のサークル活動が再開できることを待ち望んでおります。

昨年は、会員が個別に注文・受け取りするテイクアウト方式としました。

本年は、テイクアウト希望日を予め何日か設定して、一日の蕎麦打ち数も決めて、会員から希望を募る方式を模索して実現に向けて行きたいと考えています。

■ボウリングクラブ

新年明けまして、おめでとうございます。

昨年からの新型コロナウイルス感染拡大により令和２年４月以降休会しています。

「ボウリングクラブは会員相互の親睦と融和と健康増進を図ることを目的にしています」会員の方々を集めてのボウリング大会も難しい状況の中、１１月に電友会の役員会議があり、その場にサークルメンバー６名がおりましたので今後の活動について話しをしたところ、コロナウイルス感染の拡大により安全面の確保が難しい状況であることから、残念ですが休会を継続とすることで了解して頂きました。

今後はコロナウイルス感染拡大の状況を見て、安心に開催できるように願っています。

■パークゴルフ倶楽部

新年明けまして、おめでとうございます。

パークゴルフ倶楽部は発足して７年、コロナ禍の中でも月一回の大会を楽しんでいます。パークゴルフは、広い芝生の自然の中で、８５センチのクラブ一本を使い、最少打数でホールインを目指す競技です。

適度な運動、パートナーとの楽しい会話、コースの状況を見極める判断力など、元気の素が多く詰まっているスポーツで、９０才代で現役の方もいます。サークルでは、新入会員のために貸出し用具や個別指導などを用意して、ご参加をお待ちしています。

■里山トレッキング倶楽部

昨年の活動は例年同様、計画通り実施出来ました。

令和三年を迎えて計画はこれから予定を検討しますが、一泊二日の山旅を新たな計画で、その他の里山は例年通りです。

メンバーは退会者もおりますが、入会者もあり会員数は、人数的には変わらないです。

ただ、私事ですが寄る年並をつくづく感じる今日この頃です。高い山は勿論のこと里山もなかなか大変「気合」で頑張っています。

続けているから今年度もさらに気合入れて頑張っていきます。

ＮＴＴ施策に協力

■「福島ひまわり里親プロジェクト」に協力

今年度も「福島ひまわり里親プロジェクト」にご協力ありがとうございました。取組は、新型コロナ禍によりスモールスタートとなりました。種の収穫は異常気象の影響など多くの方が不作となり残念でした。

種まきから植え付け、種をとり乾燥させ、混ざったゴミを取り除くなど、なかなか難しくノウハウと手間の掛かる作業で参加された皆様ご苦労様でした。自前のひまわり種を栽培し、種を大量採取していただいた、松浦さんありがとうございました。

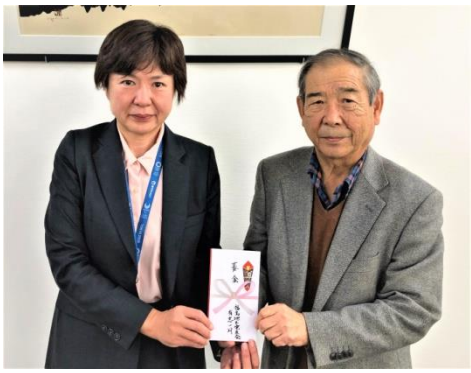
お陰様で、昨年度並みの７．５KGをＮＴＴへ手渡すことが出来ました。参加いただきました皆様の協力に感謝申し上げます。福島の復興を盛り上げられてうれしく思います。

来年度に向けて少しの種でも、多くの皆様にご協力頂ければ大きな成果に繋がりますので、多くの皆様の参加を期待しています。

ご協力をよろしくお願い致します。

■「電電ありの実会募金活動」に協力

「電電ありの実会募金活動」は、児童養護施設「青葉学園」への支援活動として、ＮＴＴ福島支店が毎年実施しています。 従来はＮＴＴ福島グループＯＢ・ＯＧ交流会（旧記念日を祝う会）で募金活動を実施していましたが、今年度は新型コロナの為にＯＢ・ＯＧ交流会が開催できないため、地区役員と各サークルにご協力を頂き、募金活動を実施しました。地区役員会と６サークルで合計６４名**４３，０００円**の浄財が集まり、早速、会長よりＮＴＴ福島支店山貫支店長にお渡しし、大変喜ばれました。



会員の社会貢献活動

■飯館村避難者支援事業（ＢＨＮ）

福島地区電友会の有志が、東日本大震災で被災した福島県飯館村避難者への支援事業の一環として行っていた「ＩＴ活用によるコミュニティー支援等」につきましては、飯館村が避難指示解除から３年が経過し、復興が一定の段階を迎えたと思われ、外部からの支援の必要性は薄れてきており、ＮＰＯとしての役割は果たし終えたと判断し、活動終了となりました。

参加及びご協力をいただいた関係者の皆様に心から敬意を表します。

■「菊の里」チャリティバザー中止

二本松市にある、障害者支援施設「菊の里」で、毎年開催されているチャリティバザーは、残念ながら新型コロナウィルス感染防止のため今年度は中止となりました。来年度は実施予定ですので、チャリティ提供品につきましては来年度まで各自で保管願います。ご協力をよろしくお願いいたします。

訃報情報

「前号（Ｒ３．８．１）以降に連絡のあった方」

■ご冥福をお祈りします

○佐藤　宗吾　様
（令和２年５月１４日　享年８８歳）

○伊藤　榮一郎　様
（令和２年８月２２日　享年９０歳）

○八巻　栄吉　様
（令和２年８月２７日　享年９４歳）

○斎藤　孝雄様
（令和２年１１月５日　享年７６歳）

○山岸　喜一様
（令和２年１２月５日　享年８６歳）

事 務 局 だ よ り

■３月まで予定の催し物等について

１．「新春の集い新年会」
　毎年、１月に実施していました「新春の集い新年会」は、新型コロナウィルス感染拡大のため、残念ながら中止となりました。

２．「第３回役員会」（予定）
　令和３年３月２５日(木)　１３時３０分～
　ＮＴＴ花園ビル２階 会議室
☆新型コロナ感染状況により開催判断

■不良設備情報提供ご協力のお願い

　会員の皆様には、「設備不良設備情報提供」にご協力を頂きましてありがとうございます。
　しかしながら、今年度は提供件数が伸び悩んでいる状況です。現在。役員一人１情報運動を展開していますが、是非会員の皆様にも一人１情報提供をお願い致します。

●急ぐ必要がない場合は電友会事務局迄
　電友会事務局（☎・FAX・ﾒｰﾙ・持参）
　（☎・FAX：０２４－５３１－７４２１）
　（ﾒｰﾙ：denyu024@dune.ocn.ne.jp）

○緊急性がある場合
　①「局番なし１１３
　（携帯・PHS　0120-444-１１３）」に連絡
　②又は「不安全設備ＷＥＢ受付」に投入

■新型コロナ禍における注意事項

１．基本３原則
（１）マスクの着用
　『いつでもマスク』
　『会話をする時にはマスクを』
（２）３密の回避
　①密閉空間（換気の悪い密閉された部屋）
　　⇒窓やドアを開けて小まめに換気
　②密集場所（多くの人が密集している）
　　⇒密集場所には行かない
　③密接場面（互いに手を伸ばしたら届く範囲での会話や共同行為）
　　⇒対人距離（できれば２ｍを目安に（最低１ｍ））を確保する
（３）手洗い・消毒

２．感染リスクが高まる「５つの場面」
　①飲食を伴う懇親会等
　②大人数や長時間に及ぶ飲食
　③マスクなしでの会話
　④狭い空間での共同生活
　⑤居場所の切替り
　　（休憩室、喫煙所、更衣室に注意）

３．サークル活動における注意事項
（１）参加の前に（必須）
・必ず体温を測定し、３７度以上の時は参加を控える
・本人及び家族に風邪の症状（のどの痛み、咳、だるさ等）が有る場合は参加を控える
（２）サークルでの行動
・接触をできるだけ避け、対人距離（できれば２ｍを目安に（最低１ｍ））を確保する
・マスクの着用、特に大声での発声や唱和・唱歌には配慮する
　（発表者はできればマスクにさらにフェイスシールド、十分な距離と換気等）
・入退室の際は手指の消毒を行う
・３密を避けるように常に意識する
（３）開催場所の環境
・手指の消毒設備の設置
・入室者数を密にならないよう制限する
・換気に留意し、窓等を常に解放するか又は３０分に１回の換気を行う
・共有物品は使用の度、洗浄・消毒する
・スリッパ等は極力持参する
（４）活動における留意事項
・活動毎に参加者リストを作成する
・横並び着席や対面を避ける着席に極力配意する
・飲料水のお酌は避ける

☆各人が自覚を持ち十分な感染防止対策の基にサークル活動を楽しんで下さい

これから、寒さの厳しい時期を迎えますが、新型コロナやインフルエンザに十分に注意し過ごしましょう！